

令和4年度せんだんの里グループホーム 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (東乃家・中乃家・西乃家)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念をもとに、ユニットの理念を掲げている。毎年度ごとに管理者・職員全員で見直しの必要性の検討や、内容の確認を行っている。ユニット内の目に付きやすい場所へ掲示する事で、意識して取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で地域とのつながりが難しい状況ではあるが、町内会便り等をご利用者に見て頂き、桜の季節には周辺の住民に町内会便りでお知らせし、里周囲を開放するなど交流を図っている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回地域推進密着会議を行い、グループホームでのご利用者の生活の様子等の報告を行っている。集合型での開催が難しい状況のため、書面でグループホームの取り組みの報告を行い、委員の方々より意見や地域の状況等のお話を頂き、サービス向上へ活かしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年1回外部評価を受け、結果を公表している。外部評価結果の改善計画書の提出や、必要時には担当者の見解を確認し協力体制を築くよう取り組んでいる。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束しないケア委員会の取り組みとして、身体拘束の適正化と原則禁止の理解を深めるため、内部研修やチェックリストを定期的に全職員に行い振り返りを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会での取り組みや内部研修、部署での振り返りの場を設けるなど、身体拘束や虐待防止への意識、理解を深める取り組みを実施していることから。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止の勉強会に職員全員が参加し理解を深めている。また、定期的実施する高齢者虐待防止自己点検シートや、不適切ケアカードを使用しグレーゾーンが放置されない取り組みを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員が高齢者虐待防止に関する点検シートや勉強会等で理解を深め、事案を見過ごさないよう取り組みが計画的に行われていることから。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在制度を利用している方はいないが、研修等への参加を活用し理解を深めている。また、利用を希望される際は関係機関へつなげる体制を設けている。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約前後にご家族への説明の機会を設けている。改定等の際は説明会の開催や書面での説明等を行いご家族の質問等を伺いご理解頂ける様、対応している。疑問点や不安についてはオンラインで実施する説明会または定期連絡時や、問い合わせ時にお答えするなど、確認・対応をさせていただいている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	来訪時や月2回の定期連絡時にご家族から要望はないか伺い、その都度または会議等の場で話し合い運営に反映させている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	直接の来訪等が難しい状況ではあるが、意識的に定期の連絡等でご家族の意見を伺い、全体で共有を行い対応を行っていることが窺えることから。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ユニット会議や、面談、日常のやり取りでユニット職員の意見や提案を聞く機会を設けている。擦り合わせを行なって、運営に反映出来るように取り組んでいる。毎月グループホーム運営会議を開催し職員の意見や提案を運営に反映させている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	キャリアパス制度やストレスチェック、四半期毎に職場内環境の見直しを行い、職員の働きやすい環境の整備を行っている。職員それぞれの目標を把握して、定期的な面談で達成状況の確認と評価を行っている。また、職員ごとの生活状況や家庭環境	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が目標や向上心を持って働けるよう、目標の把握や面談を行うなど仕組みを整え、より良い職場となるよう取り組んでいるため。また、工作上だけではなく抱えるストレス等にも目を向ける関わりを行っていると思われるため。

				に応じた働き方を提案するなど、向上心を持って働けるように、職場環境の改善に努めている。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の能力や経験に応じて内外への研修への参加の機会を設けている。また、資格取得のためのサポートとして勉強会も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の経験年数や能力に応じたの研修参加の推奨や、資格取得のためのサポート等も行っていることでグループホームの職員の能力向上や意欲向上に繋がっていると思われるため。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	宮城県グループホーム協議会へ参加し他事業所との交流を図っている。また、オンラインでの研修への参加による意見交換等を行いサービスの質の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の生活歴のアセスメントから、安心して生活を送れるよう、一人ひとりの出来る事、やりたい事、得意な事、望む生活等に目を向けて、一緒に活動(食器拭き、洗濯物たたみなど)を行いながら、関わりや会話を通して関係性を築いていけるようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響により直接の対面での交流は難しくあるが、電話や窓越しでの面会を行い、関係性の継続を図っている。オンライン面会や、親族や知り合いが来られた時は、窓越し面会や電話を使い、交流を持ち関係性の継続を行っている。オンライン面会や、親族や知り合いが来られた時は、窓越し面会や電話を使い、交流を持ち関係性の継続を行っている。			
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の生活歴やご本人のお話等から希望や暮らし方の意向の把握に努めている。月1回ケアカンファレンスを開催し生活の質の向上に努めて			

				いる。アセスメント表を使用して、入居前の生活歴や過去の生活環境等を確認している。入居後は、ご本人やご家族から得た情報を職員間で共有し、把握とケアへの反映にも努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、家族、各関係機関と連携し、情報を共有し、ご本人に沿った介護計画の作成を行っている。毎月ケアカンファレンスを行ない、課題とケアの確認、検討をしている。また、ご本人、ご家族の意向を確認し3ヶ月ごとに介護計画を作成している。状態変化などに合わせて課題や検討が必要な事項があればその都度話し合いを行いケアの細部の見直しを図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の情報を共有することで家族やグループホーム内だけではなく関係機関との連携も図りながら、ご利用者本人に合わせたケアを行えるよう仕組みが整えられていること、状態変化時にもタイムリーに対応を検討することも確認できることから、現状に即したケアを行うよう意識していると思われるため。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を個別に介護ソフト、その他ツールを用いて記録を行い、気づきや変化を職員間で共有し、介護計画へ反映させている。日々のケアや毎月のカンファレンスの際、介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護ソフトやその他にも様々と思われる手法で日々の様子やその中の気づき、様子を記録することで、情報共有を行い、その上で介護計画を必要に応じて見直すなど日常的に活かしていることが確認できるため。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム内だけではなく、ご本人や家族の状況、その時々ニーズに合わせて、職員間で話し合いながら柔軟に支援できるよう取り組んでいる。併設している施設とも連携を図り、サービス提供を行っている。コロナ禍の状況により、敷地内やユニット内での活動が主となり、理美容、医療に関する支援なども訪問が中心となりながらではあるものの、様々な方法で支援を継続している。			

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会の回覧資料内容を共有し地域の情報を把握している。また、新型コロナウイルスの感染状況に合わせて地域の行事や、せんだんの里での行事への参加で地域の方々との交流や本人の能力を発揮できるよう支援している。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や必要時に都度確認を行い、ご本人やご家族の希望する専門医やかかりつけ医に受診できるよう配慮している。医療機関とのやり取りの際には、ご家族、本人の意向も確認しながら対応している。職員が受診に同行した場合は、家族へ受診結果や経過の共有を行い、治療に対する意向の確認等も行いながら、受診の支援をしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時にはサマリー等を使用し病院関係者との情報交換や相談に努めている。入院後も定期的に経過や状態の確認を行い、退院後の生活に不安が生じないような受け入れと生活を継続して送ることができるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時の本人に関する生活上の情報の提供を行い入院中の生活を安心して行えるよう配慮していること、現在は病院(病室)への直接の訪問等実態調査などの頻度は以前と同様に行うことが難しい点もあるが、方法を変えるなど工夫を図り、入院時の情報提供だけでなく入院中の経過についても確認を行い、得た情報を基にかかりつけ医や医療機関との連携もしっかりと行われていることが確認できる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期の在り方について入居時や早期からご本人、家族と話し合い意向を確認している。また、状態の変化に応じて繰り返し説明を行い、グループホームで提供可能な限りご本人の希望に沿った支援を行えるようケア体制を整えている。終末期における看取り指針を作成し、事業所で行なえる医療体制を含めて、ご本人やご家族に説明を行っている。意向		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人からの意向の確認が難しくなる可能性も考えられる終末期の生活やケアの意向を、できる限り早期から利用者や家族へ確認しながら、説明等も行い事業所としてご利用者や家族の意向に添った終末期ケアが行われるよう、体制づくりを行っていることが確認できるため。

				確認と同意を得て、看取り支援を行っている。			
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時の為に手順に沿ったフローチャート等を作成しており、それに基づいた対応が出来るように確認をしている。新人職員を中心に救急救命訓練等の研修に参加をしたり、リスクの高いケースに備えての対応の再確認を行うなど、応急手当や初期対応について知識を学んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に防災訓練を行い、昼夜を問わず、入居者様を安全に避難・誘導するために必要な知識や動きを身につけられるように取り組んでいる。また、災害時の食料や物品等についても担当が中心となり確認し、有事に迅速な対応が取れるよう備えている。年に1度非常時の発電機の使用や停電時の備え、対応の確認も行っている。	夜間の体制(各棟に1名)という点への不安要素については、現状の連絡体制の確認やマニュアル・他棟、併設の施設との連携等を活用し対応していく必要がある。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な消防・防災に関する訓練の実施や災害への備え、フローチャートの確認、物品や設備の点検等が実施されている状況のため。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの情報や日々の関わり、ご家族からの情報も含め、ご利用者の人格を尊重して、その方に合わせた声掛けや対応を行っている。生活面ではプライバシーを損ねる事の無いように配慮してケアを行っている。話す内容によっては場所や音量への配慮をするなど対応に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人格を尊重した声掛けや対応が行われていることももちろんであるが、個人の背景にも着目、配慮した言葉の内容、対応や伝える場面にも配慮していることがうかがえるため。グループホームの活動報告等でのご利用者の生活の様子や表情からもどのようなケアが実施されているか確認できる。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日その日のご利用者の体調や気持ちに考慮しながら、その方の生活のペースに合わせたケアを行うよう努めている。 希望や思いを伺い、実現できるよう取り組んでおり、カンファレンスなどで定期的に確認をしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外食等は難しい状況ではあるが、食事が楽しみなものになるよう各棟それぞれの工夫を行っている。季節の野菜を育てて収穫したり、調理のお手伝いや盛り付け、片付け等を一緒にすることで食事への参加の意欲も持てるよう配慮している。定期的なおやつ作りや、季節を感じられる食事の提供も行う等配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理・配膳・片付け等食に関する一連の活動に関わることができるよう配慮されていることで、食事という行為が与えられるものではなく、主体的に関わり、楽しむことができるものになるよう配慮されている。食事を召し上がるご利用者の表情が良いことも印象的である。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士と相談しながら本人に合わせた食事形態で提供している。また、水分摂取の低下が見られる場合は飲水以外にもゼリーを提供する等、一人一人に合わせた支援をしている。食事摂取量、水分摂取量を把握し、食事のバランスが偏っていると思われる場合には、管理栄養士に補助食品などを相談したり、ご利用者個々で好まれるものを提供できるよう検討を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの口腔状態に合わせ、口腔ケアを行い、義歯などの口腔に関わる用品は洗浄を実施し日常的なケアを行っている。歯科衛生士が月1回以上口腔内の状態確認と口腔ケアを実施し、その都度アドバイスを受けている。必要時は歯科往診の対応を行ない口腔内の状態保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科衛生士も介入し、ご利用者一人ひとりの口腔に関する状態を把握し、ご利用者に合った声掛けや補助など介護職員による日常的な口腔ケアの実施が出来ていると思われるため。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の排泄の状況を把握する為、排泄状況を記録し、一人ひとり排泄パターンの把握に努めている。状態によって訪問看護師や主治医、職員間等で相談するなど、排泄支援を行っている。排尿回数や量、間隔等をチェックして、トイレ誘導、声掛け、体調管理などの支援に活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに意向の確認をしながら入浴をして頂いている。温度、入浴の仕方など、体調や身体状況、希望に合わせて、気持ち良く安全に入浴を楽しんでいただけるように対応している。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活のリズムやご本人の状態を見て声かけを行い、休んで頂いている。日中に散歩や体操など活動の機会を設けており、できる限り質の良い睡眠や休息が取れるよう、生活リズムを整えている。掛け物や空調など居室の環境整備も行なっている。			
	34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬管理ファイルを作成・活用して処方箋や薬の効能等服薬状況を確認・共有している。また、医療機関と連携し服薬支援と症状の変化等の確認にも努めている。処方の変更・中止などがあった時は主治医、薬剤師からの説明を受け、注意点などを職員が把握し経過の観察を行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬管理ファイルの使用などによりご利用者の服薬に関する情報を管理し、服薬による影響も観察を行える状況となっている。また、それらがケアや医療に関するやり取りの際に活用され、個々の体調の観察も行われていると思われるため。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の力を活かし必要なサポートを行いながら様々な家事、その他活動を支援している。これまでの習慣、得意なことや趣向、役割を知り、日常生活に取り入れている。家事活動以外に近くへの散歩、歌、会話、余暇で			

				の体操や可能な限り得意なことの実施なども含めて日常を楽しんでいただき、気分転換を図れるよう取り組んでいる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの状況に合わせて、感染予防に伴う外出制限などもある中ではあるが、敷地内の散歩や、庭先での活動、家の中での余暇活動など棟で生活するご利用者の状態に合わせた支援を行い、生活を楽しみのあるものとして過ごしていただけるよう配慮している。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出しての買い物は難しい状況ではあるが、個人の能力に合わせて金銭の所持や買い物の支援を行っている。希望の買い物ができるように要望を伺うなど対応を行っている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の希望に沿って電話や手紙等の交流が図れるように、ご家族にも協力をいただいて対応をしている。電話をいただいた際は取り次ぎを行ない、会話を楽しめるように環境を整えている。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の身体機能や関係性、状態に合わせて、動線や座席への配慮を行っている。関わりを持って過ごすことができるような配置等、馴染みのある安心した場所として定着を目指している。ソファの設置等でゆったりと過ごせる空間を作ったり、ユニットによって家庭菜園、花壇を作り季節を感じて頂いている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの能力や関係に応じて、安心して生活を送れるよう、食卓や動線、ソファの設置等の環境を整える配慮や、季節感を感じられる取り組みもあるため。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者が望む生活や日々希望されていることを、普段の関わりの中で知る事で一人ひとりに合わせた提案を行ない自己決定できる場面を作るように取り組んでいる。思いがうまく伝えられないご利用者に対しては関わりの中やこれまでの情報を基にご本人の思いを汲み取れるよう努めている。			
		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に行ったアセスメントを元に今までの暮らしのリズムや習慣に出来るだけ沿った支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間対応の訪問看護師と連携している。主治医の月2回の往診、看護師の週1回の訪問や日常の中での体調変化など、その都度、訪問看護師に報告・相談し、主治医に報告している。適切な医療を受けられるよう対応している。また、ご本人の日々の変化や状況を把握し、状態に合わせて生活を継続できるよう、環境や安全面の対応について検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護師、医師の定期的な対応や緊急時の体制などの連携を図ることで医療面への不安も少なく、ご利用者ごとの状態に合わせて身体面、精神面に配慮した環境づくりが行われていることが分かるため。
		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のペースを尊重した生活をして頂けるよう、これまでの生活習慣や趣味嗜好などの情報を基に、毎月のカンファレンスで、日々の暮らし方について検討をして、可能な限り実行している。			
43	生活の継続性						
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた家具やご家族の写真など、馴染みのある物についても、ご家族の協力をいただきながら配置し、居心地の良い環境作りに取り組んでいる。随時ご本人、ご家族と		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と相談、協力を行いながら馴染みの物を持ち込むことで、本人の安心できる空間となるよう配慮されている。本人の愛着があるものに囲まれて生活することで、安心して日々を過ごすことが

45				相談をしながら、必要なものを揃えるようにしている。			出来ている、また、可能な限りご利用者の意を介している。
		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響で、人流の多い場所等への外出は控えている状況ではあるが、ご本人の希望を聞きながら、桜や紅葉の季節には施設周辺を散歩したり、散歩が日課のご利用者には職員と一緒に毎日出かけられるよう対応している。併設する特別養護老人ホーム内の共有スペースの活用など身近な外出などを行うよう努めた。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のカンファレンスで、ご利用者の支援内容を確認し、ご本人の状態に沿った役割や楽しみの提供を行うよう努めている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士の交流に努めたり、家事活動やそれぞれの趣向に合わせた趣味等を行って頂いたり日々の生活の中で楽しめる場面を出来るだけ多く作れるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者によっては事例として人との関わり、生活や能力の継続を目指す取り組みを行う等、個々に合った活動や支援を提供することにより本人がいきいきと過ごすことができるような視点で対応を行っていることが確認できた。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響により地域の方々とのふれあいは難しい状況にあるが、理美容や他事業所の専門職、医療職等、人との交流や関係の継続に努めている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人と職員との信頼関係づくりに努め、地域との交流が難しい状況ではあったが家庭的な雰囲気の中でそれぞれが役割をもって生活できるように配慮している個々に焦点を合わせて好む会話や活動を取り上げて提供するようにしており、生き生きと楽しむことの出来る場面を増やせる支		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的な雰囲気の中で他者との交流を行えるよう、また役割を持って生活を続けられるよう様々な情報や日々の様子も把握しながら対応の内容にも個別に配慮していることが活動や報告内容や、ご利用者の表情からも確認できる。

				援を行うよう努めている。またご家族や身近な関係の人との関係性の継続などに配慮し、グループホームでの生活をより良い日々出来るよう努めている。			
--	--	--	--	---	--	--	--